

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：9/24～9/28

・ 9/24(月)

米中関係と日米関係、中国の「反腐敗」運動、米朝関係、菅東厚真発電所四号機などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いました。特に問題は見られませんでした。

・ 9/25(火)

杉田論文と新潮 45 休刊、国連総会とトランプ政権、アメリカ司法省副長官、トランプ大統領国連演説、国連本部に故マンデラ氏の銅像が寄贈などについて報じられました。これらのトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、杉田論文と新潮 45 休刊については一部、放送法第四条に照らして不十分な点が見られました。

・ 9/26(水)

国連総会、日米首脳会談などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

・ 9/27(木)

TAG(物品貿易協定)交渉入り、国連安保理会合、沖縄知事選、劉霞氏が中国人権状況イベントに登場、内閣改造と党役員人事の実施日表明などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、沖縄県知事選挙を巡る報道については放送法上の問題が見られる箇所および印象操作の疑いが見られる箇所が確認されました。

・ 9/28(金)

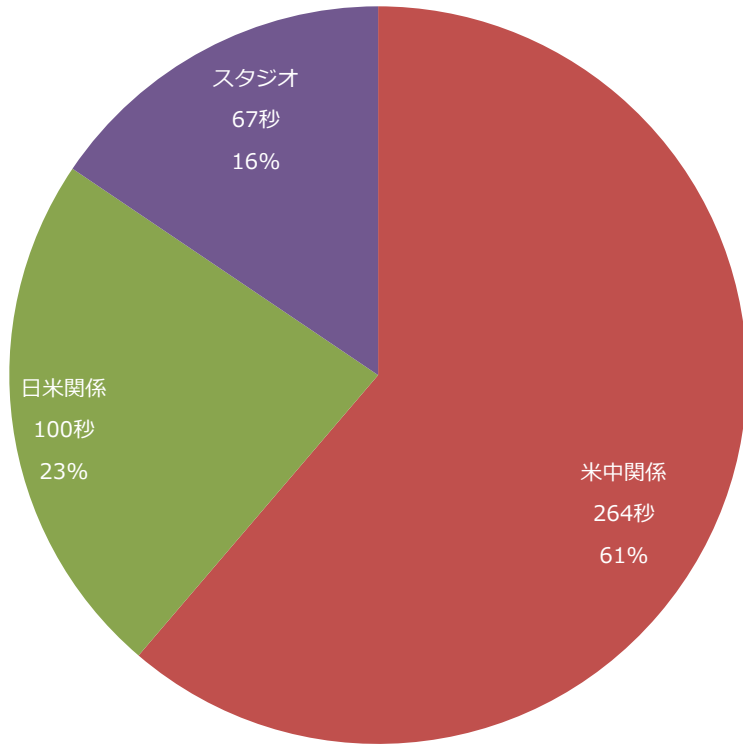
政権与党人事、ふるさと納税、アメリカ最高裁判事候補、新潮 45 休刊と杉田議員、政府の北海道震災対策、沖縄県知事選挙などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の観点から検証を行いましたところ、ふるさと納税を巡る報道については放送法上の観点から問題と見受けられる箇所が確認されました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

| | | |
|--|------------|----------------|
| テレビ局：TBS | 番組名：NEWS23 | 放送日：2018年9月24日 |
| 出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 | | |
| 検証テーマ：米中関係と日米関係、中国の「反腐敗」運動、米朝関係、苫東厚真発電所四号機 | | |
| <p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米中関係と日米関係 ・中国の「反腐敗」運動 ・ストーカー被害が過去最多 ・【現場から、なくせ！危険運転】逮捕服役の出所後も免許取り消されず ・東京都町田市、高齢者住宅殺人の続報 ・米朝関係 ・アフリカのタンザニアでフェリー事故 ・スポーツ報道 ・23Today 米中貿易戦争 町田市高齢者住宅殺人 【戦争】東京台東区、鶯谷駅前のロッカーに赤ちゃんの遺体 静岡県南伊豆町の国道でイノシシとバイクが衝突、運転男性が死亡 苫東厚真発電所四号機 ・天気予報 ・新コーナーNEWS23×2018 世界バレー | | |
| <p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米中関係と日米関係：結論→特に問題なし <p>アメリカは今日、中国からの輸入品に対し過去最大級となる制裁関税を発動し、対する中国も即座に報復措置に乗り出したことが報じられた。また、</p> <p>このトピックでは米中関係に焦点を当てた場面、日米関係に焦点を当てた場面、スタジオでのやり取りの3つの場面に大別された。このトピックについて当てられた時間は431秒で、それぞれの場面の時間配分および比率は以下の通りであった。</p> | | |



米中関係では中国との間に巨額の貿易赤字を抱えるアメリカが三段階の制裁を発動したこと、今年7月の制裁第一弾ではアメリカは3450億ドル相当の輸入品に25%相当の関税をかけたこと、先月の第二弾では160億ドル相当の輸入品が追加されたこと、過去最大規模となった今回の制裁で合わせると中国からの輸入額のほぼ半分2500億ドル相当に追加関税が課せられることになったということが報じられた。また、中国政府も直ちに報復措置を発動しアメリカからの600億ドル相当の輸入品に5%~10%の追加関税をかけることとしたこと、アメリカとの貿易摩擦の影響などをまとめた白書も発表し、トランプ政権を強く批判したことも報じられた。また、貿易戦争の影響として生産の半分を海外に輸出し最大の取引先を中国としているアメリカ東部ヴァージニア州の製材所では早くも悪影響が出ていることが伝えられた。

日米関係では、トランプ大統領が貿易問題で日本側の譲歩を求めるかのようなツイートをしていたこと、トランプ大統領との会食後の安倍総理の「日米間の通称・投資・貿易等の課題、FFRについてはですね、大変建設的な議論ができたと思っております。」という発言が取り上げられていた。また、アイリスオーヤマの「現在、アメリカ向けの家電については大半を中国で生産していて、今後関税の影響を見つつ他地域での生産を検討している。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り上げられた。

雨宮塔子「今後は日米の閣僚級協議、そして首脳会談を控えていますが、トランプ大統領は日本にも厳しい要求を突きつけてきそうですが。」

星浩「そうですね、政府関係者によりますと、先程の安倍総理との夕食会で、トランプさん、どうも相当、その貿易不均衡について厳しい注文をつけたようですね、はい。まあ、今まで安全保障でね、日本を手助けしてきたんだから、今度は貿易で日本に対して、その、アメリカの要求を受け入れろという気分なんですよ。」

駒田健吾「特にアメリカがターゲットにしているのはどういう商品なんですか。」

星浩「はい、おそらくですね、アメリカは、あの、自動車について 25%の関税をかけるぞ、ということで牽制をしながら、本音はですね牛肉の関税を今 38.5%なんですけれど、それを引き下げさせようという腹ですね、まあ、中間選挙も控えているということなんですけど、一方で安倍総理からするとね、これは国内の畜産農家、反対しますので、そう簡単にね、受け入れられない、非常に難しい局面になってきていると思いますね。」

雨宮塔子「注目の日米首脳会談は日本時間の 27 日に行われる予定です。」

放送法の観点からは特に問題は見られなかった。

・中国の「反腐敗」運動：結論→特に問題なし

三ヶ月以上消息がわからなくなっている中国の人気女優ファン・ビンビンさんについて、脱税疑惑で中国当局の監視下にあるとの見方が広がっているが、当局から公式の発表はなく真相は定かではないこと、そうした中で日本ではファンさんが主演の映画「スカイハンター」が上映されたことが報じられた。

VTR では映画を見に来た人の様子が取り上げられたほか、配給会社アットエンタテインメントの藤島博章統括マネージャー「情報もその後追加で何も入ってこないということだったのでプロモーション上、どういった形で盛り上げていけるかな、というそこらへんの判断が難しいというところですよ。」というコメントが取り上げられていた。

また、この背景に就任以来力を注いできた習近平政権の「反腐敗」運動があり、去年の党大会での習近平国家主席「虎退治ハエたたきキツネ狩りを進めたことで汚職をできないようにする目標が達成された。」というトラを大物幹部、ハエを地位が低い役人にたとえ、汚職を一層しているとアピールしていることが伝えられた。また、専門家の見解として東京福祉大学国際交流センターの遠藤誉センター長の「反腐敗運動をやっているならば、芸能界にもメスを入れろという国民の気持ちっていうのはものすごく大きい、それが怖いですからそれに答えるために芸能界にもメスを入れた、と。」「習近平政権誕生以降ですね、反腐敗運動を徹底していた、芸能界だけがですね、まるで聖域のようにメスを入れてこなかったんですね。まあ、ファン・ビンビンさんの告発が出ましたから、いいきっかけだということで取り調べをしてですね、いずれ逮捕するというようなところに行くのではないかなというふうに思われますね。」という指摘が取り上げられていた。

また、スタジオでは星キャスターが「まあ、中国ウォッチャーがこれいろいろ分析しているんですけど、一つは腐敗防止ですね、腐敗撲滅に対して、やっぱり高額所得者をバツで摘発するということがアピールできますし、それから脱税に目を光らせるということもできる、それからもう一つ映画界の事情がある。中国共産党はその国内映画にテコ入れをしているんですけども、アメリカの映画で非常にお金を儲けたファンさんを叩くということで中国映画をテコ入れできるというような思惑もあると言いますね。」とコメントしていた。

このトピックについて報じられた時間は 272 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・米朝関係：結論→特に問題なし

NEWS23 週刊報告 詳細版

国連総会に出席するためニューヨークを訪れているトランプ大統領は「近く二度目の米朝首脳会談を行うことになりそうだ。金正恩氏からは首脳会談を提案する美しい書簡を受け取っている。応じるつもりだ。ポンペオ国務長官が間もなく実現させる。とても上手く行っている」と述べ、北朝鮮の金党委員長から提案された二度目の直接対話は間もなくだとの見通しを示したこと、非核化に向けた交渉は難航していると見られるもののトランプ氏は具体的な中身には言及せず米朝関係は良好だと強調しているとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 43 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 苫東厚真発電所四号機：結論→特に問題なし

北海道電力は地震の影響で停止していた苫東厚真発電所四号機について今月中にも再稼働できる見通しを示したこと、当初再稼働は 11 月以降の見通しであったが早まったことになるとのこと、北電は引き続き無理のない範囲での節電を呼びかけているとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 23 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

NEWS23 週刊報告 詳細版

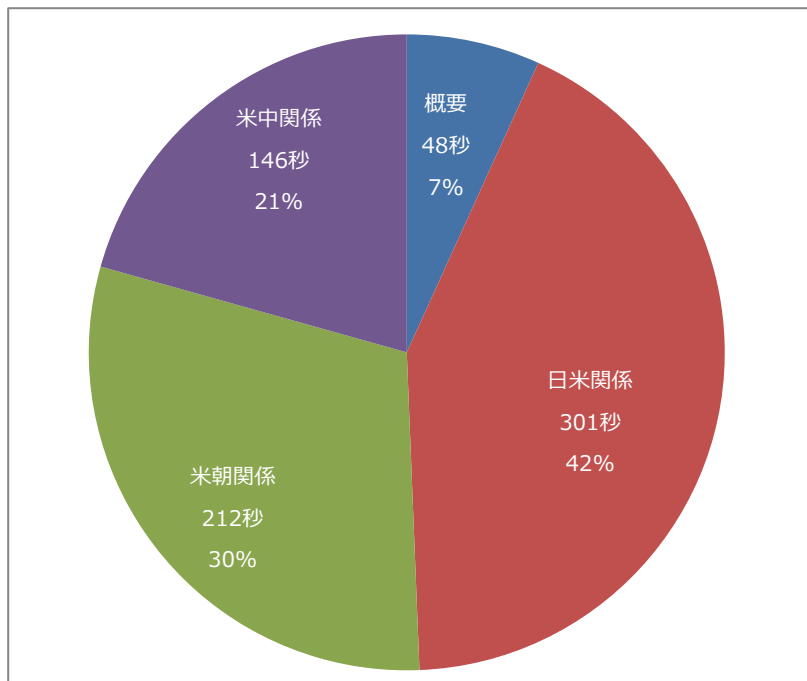
| | | |
|---|------------|----------------|
| テレビ局：TBS | 番組名：NEWS23 | 放送日：2018年9月25日 |
| 出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 | | |
| 検証テーマ：杉田論文と新潮 45 休刊、国連総会とトランプ政権、アメリカ司法省副長官 トランプ大統領国連演説、国連本部に故マンデラ氏の銅像が寄贈 | | |
| 報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・杉田論文の新潮 45 休刊 ・国連総会とトランプ政権 ・貴乃花親方が引退宣言 ・大阪府の専門学校でベトナム人留学生ら 100 人超が退学に ・アメリカ司法省副長官が辞意表明か ・スポーツ報道 ・【速報】トランプ大統領国連演説 ・天気予報 ・国連本部に故マンデラ氏の銅像が寄贈 ・世界バレー特集 | | |
| 放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・杉田論文と新潮 45 休刊：結論→やや不十分 <p>月刊誌に掲載された杉田水脈衆議院議員の文章をめぐる波紋が広がり続けているとのこと、新潮社の前で抗議集会が行われていること、この数時間前新潮社は「ここ数年、部数低迷に直面し試行錯誤の過程において編集上の無理が生じ、企画の厳密な吟味や十分な原稿チェックが疎かになっていたことは否めません。深い反省の思いを込めてこの度休刊を決断しました。」というコメントを出し新潮 45 休刊の発表を行ったこと、数年前まで 2～3 万部あった実売は最近では 1 万部前後に落ち込み赤字が続いていたとことが伝えられた。</p> <p>また、月刊「創」の編集長で篠田博之氏の「日本の思想界はやや右に軸足を移して、そっちにやや新しいマーケットができつつあるんです。新潮 45 ってもう部数、相当苦戦していますから、多分マーケットリサーチやった上でそこが行けると思ったんだと思うんですね。」という見解が紹介されたほか、抗議集会へのバイセクシャルの参加者の「休刊の宣言みたいなのが出たじゃないですか、で、それによって誰が傷ついて、その誰に謝罪をしなきゃいけないのか、全く書かれていなかったの、その抗議のために来ました。」やゲイの参加者の「ぼくら結婚もできないし、あの、なんていうかね、ある意味男二人でアパートを借りるにも戦わなくちゃいけないんですよ。まず拒否られるだろうなという恐怖感と戦いながら拒否られたらそれはおかしいでしょ、って戦わなくちゃいけないんですよ。普通の人はその必要ないじゃないですか。」や「どんな人でも、自分が思ってる主張を曲げないんだったら曲げないで、その堂々と意見を言えればいいし、悪いと思ってるんだったら、悪いと思ってるって、公の場で言えればいいし、逃げるのは卑怯だなんていう感じですね。」という発言が取り上げられていた。</p> <p>スタジオでは雨宮キャスターの「番組でも度々お伝えしてきた新潮 45 問題、ついに休刊ということになりました。」というコメントに対して星キャスターが「本来、雑誌はですね、論争の場をね、提供するべきなんですけ</p> | | |

れども、こういう形で言いっぱなしで終わりと、いうことでは出版社の姿勢としてもどうか、ということだと言う気がしますね」と応えていた。

このトピックについて当てられた時間は 272 秒だった。抗議集会へのゲイの参加者が「ある意味男二人でアパートを借りるにも戦わなくちゃいけないですよ。まず拒否されるだろうなという恐怖感と戦いながら拒否られたらそれはおかしいでしょ、って戦わなくちゃいけないですよ。普通の人はその必要ないじゃないですか。」という発言が取り上げられていたが、ルームシェアやシェアハウスなどもある一方で、そもそも同性であろうが異性であろうが同居人を認めない賃貸契約もあり、また貸主の立場からすると家賃回収の問題もある。このように考えると「アパートを借りるにも戦わなくちゃいけない」というのがどこまで真なのか、ゲイの参加者の主観に過ぎないのか、あるいは同性愛に起因する問題なのかそれとも別の要因があるのかは不明であるが、しかし、そうした意見を取り上げるのであれば、実態として同性同士でアパートを借りることは異性カップルがアパートを借りる場合と比べてどの程度困難なのかという点についても示す、あるいは不動産業者に実態を取材するなりする必要があったのではないだろうか。この杉田論文と新潮 45 そして同性愛に焦点を当てた報道が今後も続くのかはわからないが、現時点ではこうした意見の取り上げ方は放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」や同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」という点からは不十分であるといえる。

・国連総会とトランプ政権：結論→特になし

国連総会でのトランプ大統領の演説に先立ち、注目のポイントとして、日本との間での自動車や牛肉などをめぐる通商協議、北朝鮮の非核化問題、報復合戦の様相を呈している中国への制裁関税の発動が挙げられた。これら 3つのポイントと概要にという四点について取り上げられていた。このトピックについて当てられた時間は 707 秒で、それぞれのポイントに対する時間配分及び比率は以下の通りだった。



日米関係については茂木経済再生担当大臣とライトハイザー通商代表との閣僚級協議が行われたこと、自動車と牛肉の関税が焦点となっていることについて、経団連の中西宏明会長の「関税に関しても正直言ってけしからん話ですよ、まず脅しがあってね、そこから交渉が始まるというやり方になっているわけで、何を狙ってやっているのかよくわからない。」や百年コンサルティングの鈴木貴博代表の「吉野家の牛丼の並盛りが 380 円。それが TPP 並、9%さがるとしたら牛丼価格は 320 円、昔牛丼戦争の時は、大体 300 円くらいの値段だったと思うんですけど、あの頃のようにまた牛丼店が賑やかになるんじゃないかと思います。」、伊藤忠経済研究所の鈴木裕明上席研究員の「2カ国でやった方がですね、アメリカのもつ国力をフルにこう使ってますね、相手との苦笑を有利に運ぶことができる、軍事力であったりあるいは世界で一番大きい経済圏という、色んなそういった強い武器を持って交渉に臨むことで、より有利に交渉を進めるという。」という発言が取り上げられていた。

また、日米関係についてはスタジオで雨宮キャスターの「トランプ大統領は実際に中国、そして韓国、日本と貿易問題については強硬姿勢を強めていますよね。」という問いかけに対して星キャスターが「そうですね、中間選挙を控えてますます強硬姿勢になっているんですけども、あの牛肉っていうのは 38.5%が時間を経て 9%まで下げるんですけど TPP ではそういう枠組みだったんですが、アメリカは勝手にそれを離脱して、自分たちはもっと低い関税にしろって言うわけですが、相当身勝手なんですけれども、ですからこれはまあ安倍さんも国連総会の演説で、やっぱりその多国間のルール作り、国際的なルール作りは大事なんだと、いうことを主張すべきだと思うんですね、トランプさんとの、そういう意味で、やっぱり言うべきことは言う、そういう姿勢をどこまで貫けるかって言うことになってくるかと思えますね。」と応えていた。

米朝関係については南北首脳会談後にムン・ジェイン大統領がトランプ大統領に「トランプ大統領と早期に会い、共に非核化の過程を速やかに終えたいという希望を述べました。」と金正恩党委員長のメッセージを伝えたこと、日本政府の反応として菅官房長官「重要なことは朝鮮半島の完全な非核化に向けて北朝鮮のコミットメントを含む、米朝、首脳間の合意が完全、迅速に履行されることであります。」というコメントが発せられたことが取り上げられた他、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「ちょうど一年前の国連演説ではトランプ大統領、金党委員長のことをロケットマンとまで、ずいぶん今では、素晴らしいとか尊敬しているとか様変わりしてきましたよね。」

星浩「まあ北朝鮮金、一応非核化ということに向けて動き出したっていうことを評価しているんですけども、しかし北朝鮮は、そのアメリカが要求している、その核施設の全容を公開するというのを未だにやってませんで、どちらかと言うと終戦宣言、朝鮮戦争の終戦宣言を早くやってほしいと、そういう要求をしているんですね。」

雨宮塔子「でも、どうしてその北朝鮮は、その終戦宣言にこだわるんですか。」

星浩「実はこれは訳があって、核施設の全体を公表するにしても、仮にその米朝関係が緊張モードに戻った時に、その公表しちゃうと今度アメリカが全部中身がわかっちゃうわけですから、緊張したら、関係戻ったら標的にされるわけですよ、それはいくらなんでも北朝鮮は飲めないということで、やはりその条件として終戦宣言、それから体制の保障をしてもらいたい、こういうところで今せめぎ合いが続いているんですね。」

雨宮塔子「終戦宣言と体制保障がセットになっているからこだわっているということですか。」

星浩「そういうことですね。一方トランプさんは、よくよく見ると、その足元が相当揺らいでいるんですね。最近はまだ中間選挙に向けて、ワシントン・ポストの敏腕記者が暴露本を出したりロシア疑惑が燃え盛ったりしてますので、それに向けてなにか成果を示すためにも早くこう米朝会談で劇的な成果を出したい、という実はトラ

ンブさん焦っているような気がしますね。」

雨宮塔子「だからこの開催時期についても前のめりなような。」

星浩「そういう感じがもうできてますね。」

米中関係についてはきのうアメリカは輸入品 2000 億ドル（およそ 22 兆円分）に対して 10%の関税を課す過去最大規模の制裁関税第三弾を発動したこと、これに対して中国も 600 億ドル相当の輸入品に関税をかける報復措置を発動したこと、これまでの米中は二段階で合わせて 500 億ドル相当の輸入品に対して 25%の関税をかけてきたことが報じられたほか、中国商務省の王受文次官の「首にナイフを突きつけられた状態でどうやって交渉ができますか、それは平等な交渉ではありません。」という発言が取り上げられていた。

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「アメリカの制裁関税に中国も強気の姿勢を崩しませんが星さん、落とし所が見えませんか。」

星浩「実はね、その底流にはねアメリカと中国の、その経済関係が変わってきているということなんです。単純に言いますとアメリカの半導体を中国が買って、安い労働力でそれを組み立てて、で、アメリカに製品としてそれを輸出すると、こういう構図になっていたわけですけど、中国がだんだんです、まあ補完関係です、中国が今度自立してきまして、自分で半導体も作りそのパソコンも作りスマートフォンも作るっていうことになって、アメリカとまあ明らかに対立関係になってきているわけですね。」

雨宮塔子「補完関係から対立関係。」

星浩「加えてそこに南シナ海の問題だとか人権の問題だとかが出てきてアメリカと中国の覇権争いという状況になってきたというのが背景にあると思いますね。」

このトピックについて放送法上の問題は見られなかった。

・アメリカ司法省副長官：結論→特に問題なし

アメリカのロシア疑惑の捜査を監督する立場にあるものの、去年、憲法の規定によるトランプ大統領の解任を画策したと伝えられたアメリカ司法省のローゼンスタイン副長官が 24 日辞意を表明したと報じられたこと、トランプ氏は 27 日に副長官と面会する予定だと発表し今後の進退について話し合うものだと見られているとことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 42 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・トランプ大統領国連演説：結論→特になし

トランプ大統領の国連演説の「対話を行い、紛争の見通しを、大胆な平和への動きに変えました。6月に私はシンガポールを訪れ、金正恩委員長と会談をしました。我々は非常に繊細な会合を持つことができました。そして、朝鮮半島の非核化を進めることが両国の利益にかなうと合意しました。それ以来非常に勇気づけられる措置が取られてきました。少し前には想像もできなかったことです、ミサイルとロケットはあらゆる方向にもはや飛び交っていません。核実験は止まりました。一部の軍事施設は既に解体されています。我々の人質は解放され、そして、亡くなった英雄の遺骨は帰国しました。そしてアメリカの土地に眠ることができます。北朝鮮の委員長の勇気と措置に感謝したいと思います。しかしまだ多くの仕事が残っています。制裁は、非核化が実施されるまで続きます。そして多くの国がこの瞬間に達するのを助けてくれました。これに感謝をします。しかし、彼らの支援、そして我々の必要とする支援、特に韓国のムン・ジェイン大統領、そして日本の安倍総理、中国の習近平

国家主席、中国、中近東でも歴史的な変革が起きています、サウジアラビアを私は昨年訪れましたが湾岸諸国は、テロの資金源を断つ新たにセンターを開設しました。そして制裁を課しています。アメリカと協力し、テロのネットワークを追及しテロ撲滅により大きな責任を地域に果たすようになっていきます。UAE サウジアラビア、そしてカタール、いずれも数十億ドルの支援をシリア、イエメンに対し表明しています。そして、イエメンの恐ろしい、悲惨な内戦を終えようとしています。究極的には地域の国々がどのような……」という箇所について通訳付きで取り上げられていた。

また、ニューヨークとの中継では現地の岩田夏弥記者が「はい、トランプ大統領はですね、国連への到着が予定より 30 分ほど遅れまして演説は 10 分ほど前から始まりました。トランプ大統領の演説ですが、地震が大統領に就任してからの二年間に経済政策などで数多くの成果を出してと、アピールする内容から始まりました。最大の焦点の北朝鮮問題についてはですね、6月のシンガポールでの米朝首脳会談について触れまして、朝鮮半島の非核化について話し合ったと成果を語った上でミサイルの発射や核実験が行われていないこと、朝鮮戦争でのアメリカ兵の遺骨が交換されたことなど、ここでも成果をアピールしました。トランプ氏、国連本部に入る際には報道陣に対して民主党委員長との二回目の会談について調整していると語りました。去年の演説でトランプ氏は北朝鮮について、完全に破壊する以外の選択肢はなくなるなどと激しく批判をしていたわけで一年ですぐぶん情勢は変わりました。しかし本当に北朝鮮の非核化が進んでいるのか、トランプ氏はどのように国際社会に説明するのか注目されます。」というコメントしていた。加えてスタジオでは星キャスターが「トランプさん、一年前はずね、ロケットマンとかね、北朝鮮を破壊することしかないんだっていう選択肢はね、ということを書いていましたけども、この一年で様変わりといいますかね、大きく変わったっていうのは本当に象徴的な演説になっていますね。」とコメントしていた。

このトピックについて当てられた時間は 409 秒で放送法上の問題は特に見られなかった。

- ・国連本部に故マンデラ氏の銅像が寄贈：結論→特に問題なし

国連総会が開かれているアメリカニューヨークの国連本部に反人種隔離政策の象徴としてノーベル平和賞を受賞した南アフリカの元大統領の故ネルソン・マンデラ氏の等身大の銅像が設置されたこと、銅像はマンデラ氏の生誕 100 年を記念し南アフリカが贈呈したもので制作費はおおよそ 2 億円だということが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 29 秒で放送法上の問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

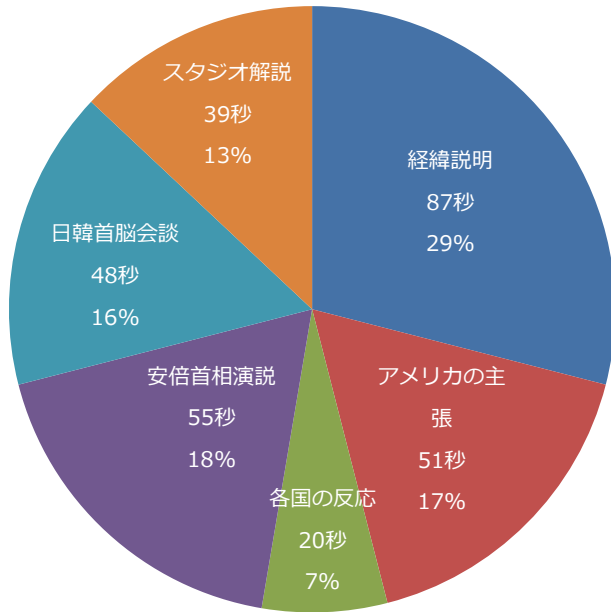
特になし

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

| | | |
|---|------------|---------------|
| テレビ局：TBS | 番組名：NEWS23 | 放送：2018年9月26日 |
| 出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙 | | |
| 検証テーマ：国連総会、日米首脳会談 | | |
| <p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島カープが初のリーグ3連覇 ・台風24号警戒 ・国連総会 ・日米首脳会談 ・貴乃花引退騒動 ・日大パワハラ問題 ・東京五輪 ・「高御座」を東京に移送 ・御嶽山噴火から4年 ・茨城で傷害事件の容疑者が逃亡 ・スポーツ報道 ・NEWS23 <ul style="list-style-type: none"> ・台風24号 ・日米首脳会談 ・吉澤ひとみ容疑者ひき逃げ事件 ・日産検査データ改ざん問題 ・吉田沙保里選手が至学館副学長辞任 ・天気予報 ・世界バレー | | |
| <p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国連総会→結論：特に問題なし <p>今回は国連総会における各国の外交の様子が報道された。トランプ大統領が唱えるアメリカ・ファーストとそれに反対するマクロン大統領の様子などが伝えられた。また、安倍首相の演説の様子なども伝えられた。今回の報道に当てられた時間は300秒で、経緯説明、アメリカの主張、各国の反応、安倍首相演説、日韓首脳会談、スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。報道の時間配分は以下の通り。</p> | | |



スタジオ解説の内容は以下の通り。

雨宮「グローバリズムというのはアメリカが世界に広げてきたと思うのですが、今や大統領が拒絶。驚きですね。」
 星「そうですね。アメリカ・ファーストを唱えてきたトランプさんですから、みんな何となくそういうことを言うのかなとは思っていたのですが、ここまではっきりと言うとは衝撃ですよ。これから自由貿易とか中東問題、環境問題からアメリカが引いてくるということだと思いますけれども、日本政府の中でもアメリカが引いたところの穴を埋めるのが中国が狙っているわけですので、結局中国が喜ぶだけではないかという見方もありまして。トランプさんそのところに気がついているのかなという気がしますけれどもね。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・日米首脳会談→結論：特に問題なし

今回は日米首脳会談について報じられた。日米首脳会談で語られる内容の予測や焦点となるテーマについて伝えられた。今回のトピックに当てられた報道時間は116秒で、経緯説明とスタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
 特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

検証者所感

特になし。

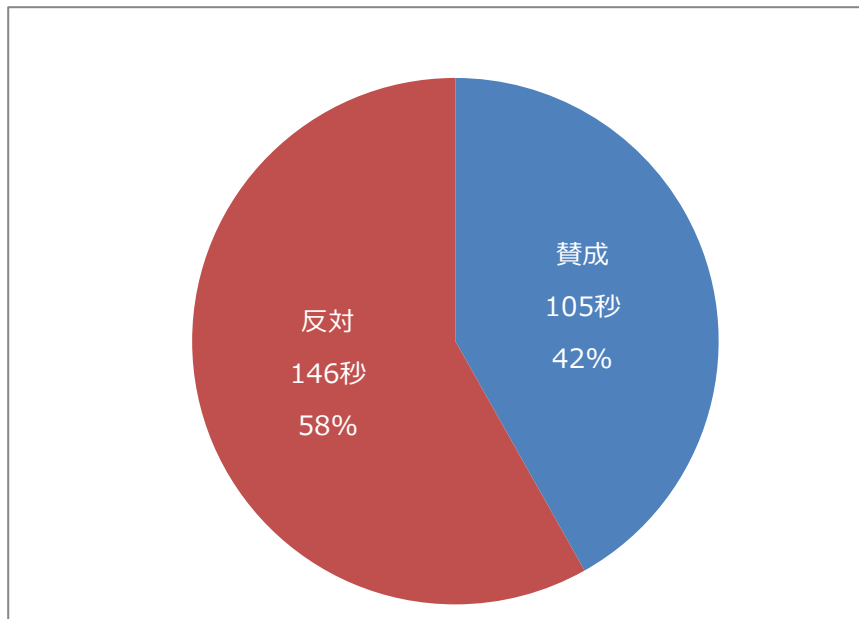
NEWS23 週刊報告 詳細版

| | | |
|--|------------|----------------|
| テレビ局：TBS | 番組名：NEWS23 | 放送日：2018年9月27日 |
| 出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙 | | |
| 検証テーマ：TAG(物品貿易協定)交渉入り、国連安保理会合、沖縄知事選 劉霞氏が中国人権状況イベントに登場、内閣改造と党役員人事の実施日表明 | | |
| 報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・台風24号 ・TAG(物品貿易協定)交渉入り ・国連安保理会合 ・金塊密輸で3人逮捕 ・沖縄知事選 ・吉澤ひとみ被告が保釈 ・貴乃花親方退職の意思変わらず ・スポーツ情報 ・23Today 台風24号 TAG(物品貿易協定)交渉入り 劉霞氏が中国人権状況イベントに登場 内閣改造と党役員人事の実施日表明 ガソリンが4週連続で値上がり ・天気予報 | | |
| 放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・TAG(物品貿易協定)交渉入り→結論：放送法第四条の見地からは問題なし アメリカとの二国間交渉に日本が応じることを決断。し全てのものについて輸出の関税を決める TAG 物品貿易協定の交渉入りで合意したことについての報道。TPP 対策本部幹部の「農産品については完全に日本も言い値でもりこめた。」というコメントを紹介した一方で、政府関係者の「アメリカと対一の交渉になれば拉致問題や安全保障を出されて農業は必ず押し込まれる。」と危惧するコメントも紹介されていた。このトピックスは242秒報道され放送法四條の見地からは特に問題点はなかった。 ・国連安保理会合→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 北朝鮮をめぐる国連安保理会合で北朝鮮のリ・ヨンホ外相が積極的に活動していることについて報じられていた。また現地から宮本晴代記者は「今各国の代表が続々と集まっていますけれども、あと10分ほどで北朝鮮をめぐる国連の安保理会合が始まります。会合の目的は表向きは北朝鮮が非核化するまで一致して制裁を続けようと呼びかけるためのものですがここに北朝鮮の外相の姿はありませんけれども舞台裏では激しく動いています。リ・ヨンホ外相は26日アメリカのポンペオ国務長官と会い長官の北朝鮮訪問が決まりましたが、その直前安保 | | |

理議場の裏の小部屋で中国の王毅外相と密かに会談していたことが JNN の取材で分かりました。時間は短いものでしたが長官の北朝鮮訪問を正式に決める前に後ろ盾である中国にお伺いを立て承認を得た形です。さらにリ外相は国交のある中立国スウェーデンと接触したことも分かりました。また日本の河野外務大臣との会談にも応じています。その最大の目的は安保理制裁の解除です。トランプ政権との対話が続いている今を絶好のチャンスと捉えています。制裁の解除に向けて国際社会の見方を増やせるか国連総会という 193 カ国が集まる場を最大限に活用して根回しを続けるものと見られます。」と報告していた。なおこのトピックスの報道時間は 104 秒で賛否が分かれる点は見当たらなかった。

・ 沖縄知事選→結論：放送法第四条第一項四号に照らし合わせると不十分

9月30日に行われた沖縄知事選についての報道。コメンテーターの星浩氏が現地入りしその報告を中心に展開されていた。このトピックスの合計時間は 799 秒だった。なお辺野古の基地移設について政府に肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ以下のような時間及び比率となった。



賛成意見としては自民公明が推す佐喜真淳候補の「米軍基地の整理縮小なんです。米軍基地の整理縮小をみんなで実現しましょう。」との演説や前沖縄県知事の稲嶺恵一元知事の「吊い合戦一本という形の異質な選挙だと思うんですよ。だから感情でいくのか、あるいはその現実を考えた場合はですね、経済、教育、環境だとかですね、その他多くの課題があるんです。どちらかが知事として相応しいかっていうのは、はっきりしていると思うんですよ。」とのコメントが紹介されていた。

反対意見としては星浩氏に辺野古移設阻止の方策を問われた玉城デニー候補の「この後は県民投票がありますから。そうやって県民の意思を確かめていってさらには国際世論も味方につけながら我々は常に自分たちの自己決定権をハッキリ求めていくんだということを世界にアピールすれば、それはもう民主主義の基本中の基本ですから。」というコメントや「本土の皆さんから沖縄の人は金を投げれば何でも飲むやという雰囲気があるでしょ。世界一危険な飛行場は撤去してください。この話をするとほらわたが煮えくり返るくらい怒っている。」との宜野湾市住民のコメントや辺野古住民の「22年間ですよ。長すぎますというのが私たち本音なんです。本当に。」

それは通らんでも反対する野党も重箱の隅をつついていてる感じ。」とのコメントが紹介されていた。

これを受けて星浩氏は現地から「佐喜真陣営、玉城陣営双方共実はちょっとした閉塞感を抱えているなという気がしましたね。佐喜真さんの方はその辺野古移設に反対をしてもですね、政府上からアメリカの壁は厚いじゃないかと、であるならば経済振興ということで沖縄の振興を進めていくということがいいんじゃないかという戦法で出ているんですね。ただしこれがその県民世論の本当の同調を、理解を得られるのかどうかについてはやや疑心暗鬼と言うか戸惑いがあるんですね。一方その玉城さんの方はですね徹底的に反対を続けるんだと言うんですが、日本政府アメリカの厚い壁にですね、どういう風に立ち向かっていいのか、これもまた閉塞感があるわけですね。というのもですね、本来国がやるべき安全保障の環境整備というものの選択をですね、沖縄の県民にしているところからこの問題は始まっているように思います。選挙の後ですね、本当にその両陣営がノーサイドで分断から和解へ歩み寄れるのかどうか、その辺を注目してみたいと思っています。」と述べていた。

賛否の時間配分などは大きな乖離は見られなかったものの印象操作と思われる点があったため上記の結論とした。なお詳細は下項目に記す。

- ・劉霞氏が中国人権状況イベントに登場→結論放送法第四条の見地からは問題なし

中国の民主活動家でノーベル平和賞受賞した後劉曉波氏の妻劉霞さんが9月26日ニューヨークで開かれた中国の人権状況に関するイベントに登場したことについての報道。このトピックスは27秒で賛否が分かれる点や問題点はなかった。

- ・内閣改造と党役員人事の実施日表明→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

安倍総理大臣が訪問先のニューヨークで内閣改造と党の役員人事を帰国後の10月2日に実施すると表明したことについての報道。政権の骨格である麻生副総理兼財務大臣や菅官房長官に加えて西村、野上の両官房副長官も留任させる考えを示したことについても併せて報じられた。このトピックスは23秒で特に問題点はなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックスの報道内容要旨

- ・沖縄知事選→印象操作の疑いが強い

番組後半部において「県民の思いは・・・」とのナレーションの後に住民へのインタビューが紹介され先述の「本土の皆さんから沖縄の人は金を投げれば何でも飲むやという雰囲気があるでしょ。世界一危険な飛行場は撤去してください。この話をするとほらわたが煮えくり返るくらい怒っている。」などの声が報じられていた。しかしインタビューに答えていた住民の4人全員が宜野湾市や辺野古の住民であり基地周辺住民だけに絞って「県民の声」として紹介するのは適当とは言えず印象操作の疑いが強いと考える。

検証者所感

特になし

NEWS23 週刊報告 詳細版

| | | |
|---|------------|----------------|
| テレビ局：TBS | 番組名：NEWS23 | 放送日：2018年9月28日 |
| <p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：森田正光（気象予報士）</p> | | |
| <p>検証テーマ：政権与党人事、ふるさと納税、アメリカ最高裁判事候補、新潮 45 休刊と杉田議員 政府の北海道震災対策、沖縄県知事選挙</p> | | |
| <p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風 24 号と沖縄 ・政権与党人事 ・ふるさと納税 ・脱プラと紙ストロー ・ボクシング連盟第三者委員会が一部で判定不正を認定 ・吉澤ひとみ被告芸能界引退 ・アメリカの最高裁判事候補 ・チョコフレークが生産終了 ・新潮 45 休刊と杉田議員 ・スポーツ報道 ・23Today 台風 24 号 安倍総理が帰国 愛媛県刑務所施設から脱走、犯人に懲役四年の判決 政府の北海道震災対策「北海道ふっこう割」 日経平均がバブル崩壊後の最高値更新 ・沖縄県知事選 ・世界バレー特集 | | |
| <p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政権与党人事 <p>安倍総理は今日アメリカから帰国し来週 2 日に行う内閣改造と党役員人事に向けた作業を本格化させること、焦点の一つが総裁選で対峙した石破派の処遇であるとのこと、麻生副総理と菅官房長官の留任を明言していること、河野外務大臣と茂木経済再生担当大臣そして世耕弘成経済産業大臣の留任も濃厚であること、今日の午後に二階幹事長が官邸を訪れ安倍総理と 30 分ほど面会を行ったことが報じられた。</p> <p>また、自民党元幹事長の石破茂氏の「ポストするのは国家国民のためにあるものであって、個人の利益のためにあるものではございません。石破を支持したからとかしないからとか、そういうことがその人が国家国民のためになるかどうか優先する判断基準だと私は思わない。」という発言、記者の「交代論が出ていますが。」という問いかけに対し齋藤健農水相が「はは、まだ早いのではないかと思いますし、私はどうだろうと最期の一分一秒までベストを尽くしたいと言うように思います。」と答えるシーン、二階幹事長が「日曜日に、なんか、いろいろ</p> | | |

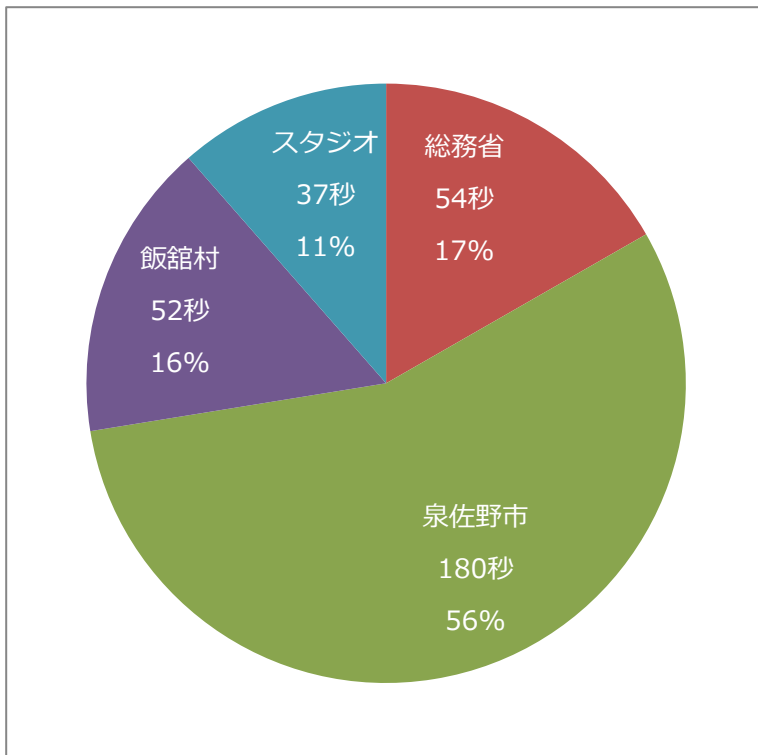
ろ、あるようなことを言っておられましたけどね、あと何時間か経てば分かることですからね。」と発言するシーンが取り上げられていた。

スタジオでは星キャスターが「私は甘利さんと麻生さんの処遇とその反応を注目しているんですけどね、甘利さんは、あの2年半前に政治とカネをめぐる問題で閣僚を辞任していますが、今回安倍陣営の責任者だったんですね、総裁選で。そこでその総務会長とか、そういうところで起用されるんじゃないかって起用されるんじゃないかって取り沙汰されていますが、まあちょっと論功行賞とかね、お友達人事じゃないかって批判が出そうだということですね。一方、麻生さんはやはりその財務大臣という事務次官と国税庁長官がスキャンダルでやめているのにその責任はどうなんだってという議論がまだくすぶってしまっていてね、これから国会が開かれれば、野党側からの責任追及は必至ということで、これはもしかしたら政権のアキレス腱になりかねないということだと思いますね。」とコメントしていた。

このトピックについて当てられた時間は196秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・ふるさと納税：結論→不十分

ふるさと納税をめぐる総務省の方針に対して地方自治体が反発していることが報じられた。このトピックでは総務省の主張を伝えるシーン、泉佐野市の状況や主張を伝えるシーン、飯舘村の状況や主張を伝えるシーン、スタジオでの議論のシーンという大きく4つのポイントに分けられた。



総務省の主張については、過度な返礼品競争が問題視されたことをうけて総務省は寄付額の三割をこえる高額品や地元産ではない品を返礼品にしないルールを守るよう求めてきたことが伝えられた。

これに対して、泉佐野市について、広島県産のカキや宮城産の米など泉佐野市とは関係なさそうな返礼品が充実していることで年々人気が集まり泉佐野市への寄付金は昨年度135億円を超えて全国でダントツ一位となって

いる状況や関西国際空港を抱える泉佐野市はかつての関空の不振などから現在、1000億円以上の借金を抱えています。ふるさと納税は財政を立て直す上での重要な収入源になっている状況が伝えられるとともに、こうした取り組みについて泉佐野市の担当者の「肉、コメ、かにという三種の神器、こういった返礼品を用意する自治体に寄付が集まるというような状況がございまして危機感を感じまして、色んなアイデアを持ち寄って返礼品を開発していこう、と。」や「地元の老舗焼肉店が目利きをしたお肉みたいなものもございます。」というコメントや八島弘之副市長の「豊富な特産品を持つ、自治体とそうではない自治体との間で格差を生じることは容易に想像でき、幅広い意見を踏まえた上でしっかりと考えていくべきではないかと考えています。」というコメントが取り上げられた他、今回の総務省の決定に対する泉佐野市の担当者の「アイデアで積み重ねてきたこの取り組みをですね、言い方悪いですが、踏みこむような通知だと。」というコメントが取り上げられていた。

また、返礼品を地元の特産品にできない事情を抱えている自治体として東日本大震災による原発事故で避難区域となって福島県飯館村については、復興道半ばのため代わりに全国から集めた商品を返礼品にしていること、昨年度およそ1億5000万円あったふるさと納税は復興への大きな収入となっていることが伝えられるとともに、飯館村の菅野典雄村長の「全村避難がなければ、飯館村で、今よりももっともって皆さんがたに喜んでいただけるようなふるさと納税ができたのではないかって、見直しますっていう話は今の所、飯館村としては言うつもりはないです。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは駒田キャスターの「四年前ふるさと納税で各地取材したんですけども町や村の職員が一生懸命アイデアをひねり出して地元の民間企業ですとか漁師さんを説得してですね。なんとか地元の活性化をという意気込みは素晴らしかったんですが、最近ちょっと問題が起きてきていますね。」というコメントに対して星キャスターが「そうですね、特にそのふるさと納税で財政再建っていうのは制度の趣旨をちょっと超えているんじゃないですかね。元々は自分の故郷とか、被災地の支援というところでスタートしているわけですからね。ただ、そのアイデアを競い合うということは大事ですから、そのルールの中でどうやってアイデアを競い合うかっていうことを考えていく必要があるかもですね。」と応答していた。

ふるさと納税制度については地方税制や地方財政をどうするかという中での一つの制度であり、地方交付税交付金との関わりを無視して論じることはできない制度であるが、そうした点は今回の報道では触れられておらず、あたかもふるさと納税が一つの完結した制度であるかのように取り上げられていた。これについては放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」という点において不十分であったと言える。また、今回は総務省の通知に対して反対する泉佐野市やふるさと納税の存続を求めている飯館村が取り上げられる一方で、ふるさと納税に対して懐疑的な地方自治体の声は取り上げられていなかったが、これも同号の観点や同項二号の「政治的に公平であること」という点からは不十分であったと言える。

・アメリカ最高裁判事候補：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領が最高裁判所の判事候補に指名したブレット・カバノー判事について、現在、大学教授のクリスティン・フォードさんは15歳だった1982年、高校生だったカバノー氏から性的暴力を受けたと主張し証言するのは市民の義務だとして当時の状況を語り、暴行は100%事実だと述べたこと、対するカバノー氏が私は無実だと全面的に否定したこと、カバノー氏を指名したトランプ大統領はTwitterに「彼の証言は強

NEWS23 週刊報告 詳細版

力で正直で素晴らしかった」と書き込んでいるとのことが伝えられた。

スタジオでは雨宮キャスターの「カバノー氏は野党民主党が承認手続きを妨害しているという、大きな政治問題になっていますね。」というコメントに星キャスターが「まあトランプ大統領が強く推している保守派の判事です。これが承認されないと政権にとっては大変な打撃になりますよね。いま、あの、アメリカの上院が承認するんですけど、共和党が 51 人で民主党系が 49 人と非常に拮抗してしまっていてね、共和党から 2 人造反すると否決されるということでギリギリの攻防が注目されていると思いますね。」と応えていた。

このトピックについて当てられた時間は 101 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・新潮 45 休刊と杉田議員：結論→特に問題なし

LGBT、性的少数者を生産性がないなどと寄稿した自民党の杉田水脈議員が新潮 45 の休刊について初めて取材に答えましたこと、杉田議員は休刊について関知していないと語った他、地震が SNS で脅迫されたことを念頭に容疑者が逮捕されるまでお応えできないことになっている、と語ったとのことが伝えられた。このトピックについて当てられた時間は 40 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・政府の北海道震災対策：結論→特に問題なし

安倍総理は北海道の地震などに対する関係閣僚会議を開き、被災地でのニーズを踏まえ、来月 1 日から旅行客の宿泊料金の最大 7 割まで補助する北海道ふっこう割を開始するなど緊急対策を取りまとめたこと、北海道ふっこう割には予備費から 153 億円を支出するとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 25 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・沖縄県知事選挙：結論→特に問題なし

スタジオで星キャスターが「日曜日の沖縄の知事選挙は台風の通過後ということになりそうですね。」と発言していた。今日の放送では沖縄県知事選挙に言及されたシーンはここだけで、このシーンは 6 秒ほどのもので放送法上の問題は特に見られなかった

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし